

2018年1月20日

No. 607

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 伊藤 純一
印刷所 (株) 第一印刷

◆ 新年のごあいさつ ◆

公益社団法人福島県畜産振興協会
福島県畜産関係団体連絡協議会
会長 宗 像 実



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は業務推進について、格段のご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。

昨年は平成29年9月7日から5日間、宮城県仙台市において第11回全国和牛能力共進会(宮城全共)が開催されましたが、それぞれの道府県が存分にその実力を発揮した非常にレベルの高い大会でありました。本県からは第4区を除く全ての区に出品し、第2区、第3区、第7区、第8区、第9区において優等賞を獲得するなど、過去最高の成績をおさめ本県畜産の復興が着実に進んでいることを全国に発信でき、喜ばしいことであります。

さて、日EU・EPAやTPP11 (CPTPP)、日米経済対話など国際貿易交渉が進展しているが、協定の発効を見据えた「総合的なTPP関連政策大綱」を踏襲し、TPP関連対策とあわせて万全の予算措置を行い、畜産物の経営安定・安定供給対策に向け、必要となる施策等を盛り込み、対策を講じる必要があります。

とりわけ本県は東日本大震災からの復興・再生の途上であり、脆弱化した生産基盤等の再構築を図るとともに本県の将来を見据え、夢と希望を抱いて安心して経営の再開並びに次世代へ継続できる環境を整備し、意欲ある優れた担い手を一人でも多く確保育成していくことが喫緊の課題であります。

このような中、畜産振興協会としましては、畜産関係団体、国、県、市町村はもとより生産者と一体となって、経営安定対策、家畜衛生対策、価格安定対策及び家畜改良事業等に取り組んで参ります。

本年も皆様のご期待に応えられるよう役職員一丸となって努力する所存でありますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、本県畜産の益々の発展と皆様方のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ新年のごあいさついたします。



◆ ● 新年の御挨拶 ◆ ●

福島県農林水産部長
佐 竹 浩



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より本県の畜産振興に特段の御理解と御協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

東日本大震災の発生から7度目となる新年を迎えました。また、今年は、平成28年度から始まった「復興・創生期間」が、折り返しとなる3年目を迎えます。この間、本県では、避難指示解除に伴う営農再開に向けた動きが活発化し、畜産業においては、復興牧場の順調な稼働などに加えて、避難指示解除地域での牛の飼養実証の開始や旧避難地域の一部における原乳の出荷や肉用牛の飼養の再開など、復興に向け着実な歩みを進めており、県民の皆様の御努力と全国の皆様からの御支援に深く感謝を申し上げます。

しかしながら、本県の畜産は、担い手不足に伴う畜産農家や飼養頭羽数の減少に加え、原子力災害により生産量が大きく減少するなど生産基盤がぜい弱化しております。さらには、TPP、日EU・EPAが大枠合意され、これらの協定が発効した場合、牛肉や豚肉を始めチーズなどの乳製品の輸入が増加し、畜産経営への影響が懸念されるなど、本県の畜産業を取り巻く情勢は厳しさを増してきております。

このため、福島県原子力被災12市町村農業者支援事業などを活用し、畜産が盛んであった阿武隈山系を中心とした避難指示解除区域での畜産の再開をしっかりと支援してまいります。また、県内全域において、東日本大震災農業生産対策交付金などを活用し生産基盤の再生を進めるほか、肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン）などにより、畜産経営の安定を図ってまいります。加えて、政府は、TPPと日EU・EPAの発効を見据え、昨年11月に「総合的なTPP等関連政策大綱」を改定し、特に影響を受ける畜産の対策を強化するとしてところであり、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）により地域の中心的な経営体の施設整備や機械導入などを支援するほか、優良な後継牛の確保や畜産経営におけるICT等の新技術を活用した繁殖性の向上などを進め、本県畜産の復興と生産基盤の強化にしっかり取り組んでまいりますので、皆様には事業を活用しながら、自らの本県畜産の生産基盤の強化と経営の発展に御尽力をお願いします。

さらには、石川郡玉川村に建設を進めてまいりました福島県中央家畜保健衛生所については、今年2月1日に開所を迎える運びとなり、本県の家畜防疫の中心として機能を強化するとともに、鳥インフルエンザを始めとした特定家畜伝染病の常時監視と発生時の迅速な初動防疫を担う全県的な危機管理拠点として、十分機能を発揮し、家畜衛生の一層の向上を図ってまいります。

さて、昨年、「福島牛」は、9月に宮城県で開催された第11回全国和牛能力共進会において、総合区である第七区肉牛の部で本県基幹種雄牛「高百合」の産子が、東日本1位となる好成績を収めたほか、全国規模の枝肉品評会において上位入賞を独占するなど、全国的にも高く評価されたところであり、復興の途上にある本県の多くの畜産農家を勇気づけるとともに、「福島牛」の能力と生産者の技術力の高さを示すことができました。また、昨年10月には「東京食肉市場まつり2017」が福島牛をメインとして開催され、2日間で約2万2千人の来場者を迎えたところであり、知事による積極的なトップセールスにより首都圏の消費者へ向けて福島牛の高い品質とおいしさをPRしたほか、しゃぶしゃぶの試食コーナーや福島牛の販売窓口には長蛇の列が出来るなど大盛況であり、「福島牛」の人気を実感することができました。

このように、多くの消費者に受け入れられている県産牛肉ですが、食肉市場における枝肉価格の回復が遅れており、特にその影響が色濃く残っています。

このため、県では、平成23年8月以降実施している全頭検査を継続して安全・安心を確保するとともに、より多くの方に福島牛を始めとした県産畜産物を召し上がっていただけるよう、高い品質とおいしさを積極的にアピールしながら、関係者が一丸となって、風評の払拭と県内外における販路の回復を図ってまいる考えですので、関係機関・団体をはじめ生産者の皆様方には、なお一層の御理解と御協力をお願いします。

結びに、本県畜産業の振興に向け、一層の御尽力をお願い申し上げますとともに、今年が皆様にとってすばらしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

市販の給餌器を活用した 「ふくしま赤しゃも」種鶏用制限給餌器の活用と効果

福島県農業総合センター畜産研究所養鶏科

1 はじめに（「ふくしま赤しゃも」について）

「ふくしま赤しゃも」は平成8年度に養鶏試験場（現農業総合センター畜産研究所養鶏科）が開発した地鶏で「川俣シャモ」として知られ、「会津地鶏」とともに県のブランド鶏として活躍しています。「ふくしま赤しゃも」は増体性に優れ、軍鶏肉特有のおいしさがあります（図1）。

現在、「ふくしま赤しゃも」の素びな生産は主に民間種鶏場が担っています。種鶏場は当所が供給した種鶏を交配して種卵を取り、種卵をふ化させて素びなを生産しています。この素びなが地鶏生産者に配布、肥育されておいしいシャモ肉が作られます（図2）。

2 背景と目的

種鶏場は適格種卵（種卵として利用できる卵）の個数を増やして元気な素びなを効率的に生産する必要があります。

「ふくしま赤しゃも」など肉用鶏の種鶏は不断給餌を続けると、鶏の増体とともに種卵も大きくなり卵トレイ（図3）の規格に合わない不適格種卵が増えます。そこで、鶏の増体をコントロールして卵トレイに入る短径46mm未満の種卵（適格種卵）の生産性を上げ、同時に飼料費の低減を目的に、成鶏期の平飼い雌雄混飼下において雌雄別制限給餌ができるように市販給餌器を改造し、その効果を検証したので紹介します。



図1
ふくしま赤しゃも

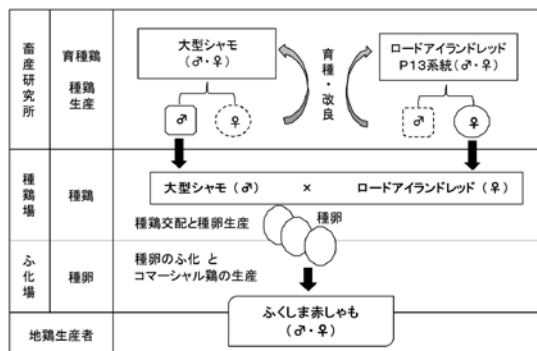


図2 「ふくしま赤しゃも」生産のイメージ図

3 方法

- (1) 雄用の給餌器は雌が届かない高さ50cmに吊るし、一方、雌用は雄の頭が入らないよう4.5cmの間隔で餌桶に蓋を設置しました（図4）。
- (2) 当所の種鶏管理データを基に設定した60週齢体重（雄4.5kg、雌2.8kg）とするため給餌時間を雄30分/日、雌2時間/日としました。
- (3) 平飼い1室あたり雄3羽、雌25羽を混飼しました。試験区は前述の給餌器で制限給餌をおこない、20週齢～60週齢の体重、飼料摂取量、産卵個数、適格種卵率、生存率、受精率、卵形を対照区（不断給餌とし、その他の条件は試験区と同じ）と比べました。

4 結果と考察

- (1) 飼料摂取量は1羽あたり9.6kg削減できました（図5）。
- (2) 体重は60週齢で雄4.8kg、雌2.7kgに調整できました。試験区（制限給餌）の卵の短径は短い傾向があり、適格種卵率も高い値で推移しました（図6、図7）。
- (3) なお、生存率及び受精率は両区に差を認めませんでした。

このことから、本試験で考案した雄雌別の制限給餌器を使うことで、成鶏期における平飼い雌雄混飼下でも雌雄別の体重管理が可能となり、生産現場における種卵の生産性向上と生産コスト低減に有効であることがわかりました。



図3 卵トレイに並べた種卵をふ卵器にセットする



図4 市販給餌器を活用した雌雄別制限給餌器

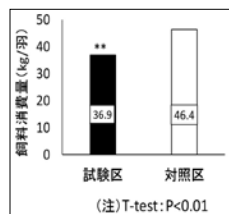


図5 20～60週齢の飼料消費量

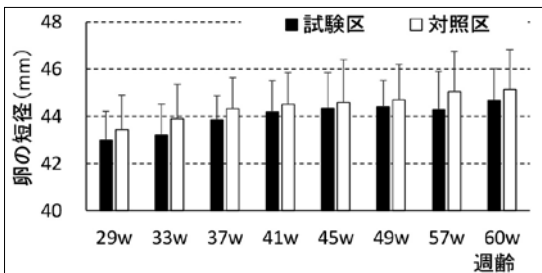


図6 29～60週齢の種卵短径の推移

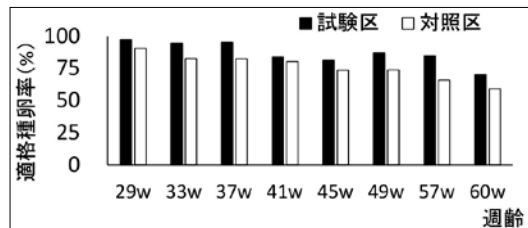


図7 29～60週齢の適格種卵率の推移

「俺たちの豚肉を食ってくれ！2017」開催！！ ～福島県産豚肉の安全性と美味しさをアピール～

2017年11月10日(土) 11日(日)の2日間、東京千代田区の日比谷公園にて(一社)日本養豚協会青年部会主催の「俺たちの豚肉を食ってくれ！2017」が開催され、福島県養豚協会(会長＝中野目正治)はこのイベントの中で、県産豚肉の安全性と美味しさをPRしました。

「俺たちの豚肉を食ってくれ！」国産豚肉の消費拡大を目的として、全国各地から集まった生産者、関係者による豚肉の試食提供や各種催しを行い、国産豚肉の魅力をアピールするものです。県養豚協会は県単独のブースを設け、来場者に「うつくしまエゴマ豚」の焼肉及び「麓山高原豚」を使った豚汁を振る舞いました。

初日の10日は「うつくしまエゴマ豚」の焼肉試食を行い、試食開始前より長蛇の列ができ、予定した試食数量が短時間で無くなるほどの大盛況となりました。

翌日、11日は「麓山高原豚」を使った豚汁の試食提供

を行い、当日は自民党養豚農業振興議員連盟の小野寺五典防衛大臣もランニング途中に立ち寄られ、豚汁を試食。福島県産農産物の美味しさを味わっていただくとともに、風評被害の現状と、その払拭へのPRについてもご理解をいただきました。

来場者には、県産豚肉に対するアンケート調査も実施し、その結果は今後の風評払拭への取り組みに役立てていきたいと考えています。

今後もあらゆる機会を捉え、生産者、関係者と一丸となつて、美味しく安全な県産豚肉の生産とPRに努めてまいりたいと思います。



全国各地から200名以上の生産者・関係者が駆け付けPR!!



全農福島県本部の小松課長による「麓山高原豚」の特徴PRの様子



小野寺大臣にも豚汁の試食をしていただきました



●品質と信頼の●



JA全農北日本くみあい飼料株式会社

くみあい配合飼料

本社
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店 福島営業所
〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827



『卵かけごはん大作戦』



福島県養鶏協会

福島県養鶏協会（会長＝三品清重(株)アグリテクノ社長）は、11月23日、福島市曾根田町のアクティブシニアセンターアオウゼで『卵かけごはん大作戦』を催し、総務省の2016年（平成28年）家計調査で福島市の1世帯（2人以上）当たりの卵の年間購入額が11,840円と2位の堺市に332円差をつけて全国1位になったことに感謝するとともに、県産卵の消費拡大を図るため、東京電力福島第一原子力発電所事故に起因する県産卵に対する風評払拭と卵に関する正しい知識の啓蒙啓発並びに県産卵のおいしさをPRした。

当日は、地元メディアと連携した宣伝効果もあり、また当イベント終了後、隣接会場にて『ふくしま・かわまた米コンテスト 2017』（ふくしま・かわまた米コンテスト実行委員会（代表 福島市長）および福島大学おかわり農園共催）の開催としたこともあり、センター内は、開会1時間前からたくさんの市民で大盛況に。

オープニングセレモニーで三品会長は「東京電力福島第一原発事故に伴う風評払拭にむけ、県産卵の消費を呼び掛けてきた活動が実ったと考えている。県産卵のおいしさを国内外に広めたい。」とあいさつ。

会員と関係者はそろいのオレンジ色の法被を着て、先着300人に県内6農場で生産した10種類の卵計500個（食べ放題）を準備し、福島大学のおかわり農園（平成30年農学系学部の開設予定）で学生が栽培・収穫した新米のホカホカごはん（3杯までおかわり自由）と2種類の専用醬油とともに食べ比べができる「卵かけごはん」をふるまった。

千葉県から観光で福島を訪れていた和田正民さんとお孫さんの英満君（小6）も試食に参加し、福島の卵のおいしさと種類ごとに美味しさが違うことに驚いたとお代わりを

していた。

参加者には、県産の新鮮卵1パックをプレゼント、その後も「お子さんにしっかり食べさせて」「生で食べるのがおすすめ」などと声掛けし、用意した卵は予定した1時間30分を待たずに完食となった。

酒井裕之福島レイヤー会代表幹事（南松川養鶏社長）は「購入金額日本一を記念して開催しましたが、改めて卵の魅力を確認できました。小学生の女の子のグループが「卵かけごはんがおいしい、おかわりしていいですか?」と、目を輝かせて食べているのが印象的でした。子どもの舌は正直です。本当に美味しいものは伝わると思います。今回は、『ふくしま米コンテスト』との共催となりましたが、風評払拭と、さらなる消費拡大のためには、生産者側が伝えたいことと、消費者側が知りたいことのギャップを埋める、今回のような具体的PR活動が必要と思いました。」と総括した。



肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました!!

カーボップEX ブラック

“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL：0243-33-1101(代)



きれいな空気、きれいな水、そして新しい鉱塩。

動物用医薬品 ビタミンE・セレン配合ミネラル固型塩

鉱塩® E250 TZ

動物 未来 みつめる ひろがる



ZENO AQ

動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

URL：www.zenoaq.jp

子牛初セリにおいてイベントを開催

平成30年1月16日、17日に本宮市県家畜市場で全農福島県本部による和牛子牛市場（初セリ）の開催に合わせ「うつくしま福島畜産^{マザーズ}mother'sクラブ^{イーエン}e-EN」主催、全農福島県本部並びに（公社）福島県畜産振興協会の協賛により、牛鍋イベントを開催しました。

このイベントは、県内の畜産に携わる女性の仲間たちが、東日本大震災後、福島県の子牛を信頼して購入してくれる購買者や関係者に感謝の気持ちと、同じ生産者への励ましの思いも込めて少しでも温かいものをと、黒毛和牛を使った牛鍋を初セリに振舞っています。

震災後6度目となる今回のイベントでは、楽しみにしていた生産者も多く、準備した1,000食（2日間で2,000食）の牛鍋がお昼頃には完食という盛況振りでした。

例年に比べ寒さは和らぎましたが、時折冷た

うつくしま福島畜産mother'sクラブ e-EN
い風が吹き付ける中、寒さで冷えた体を、マザーズクラブの気持ちの込められた牛鍋のおいしさで、温めてもらったなどの感想をいただきました。

また、材料として提供いただいた「福島牛」のおいしさを改めて噛み締めながら自信とやる気への気持ちを改めて感じたことと思われます。

福島県の畜産復興に向けて、一丸となって取組んで参りますので、今後とも福島県の畜産を応援してくださいようお願いいたします。

また、イベント開催にあたり数々のご協力を賜りましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。



牛鍋作配布の様子



牛鍋で温まる 生産者



うつくしま福島畜産 mother's クラブ e-EN
「料理講習会・食育についての座談会」を開催します！

福島県内の女性畜産生産者を中心に、飼養畜種の垣根を越えて集い、女性の立場からみた経営における疑問や不安等、同業者であるからこそわかりあえることを気軽に話し合える場、また消費者との交流や食育などを通して畜産への理解を深める場として活動しています。

今回は畜産物の消費拡大、参加者相互の交流を目的として料理講習会と座談会を下記のとおり開催いたします。どなたでも参加できます。気軽に楽しい集まりですので、奮ってご参加ください。

料理講習会 ～講師 国馬ヨウ子さん・青柳チ子さん～
Menu 大人気！焼き肉のタレ 紫蘇大根漬け
簡単手作りまんじゅう など

- 開催日時 平成30年2月15日(木) 10時より15時まで
- 開催場所 「福島県農業短期大学校 農産加工技術センター」
住所 西白河郡矢吹町一本木446 電話0248-42-4111
- 準備物 エプロン、三角巾、焼肉のタレを入れる容器（醤油・酒の空容器または、洗浄し完全に乾燥させたペットボトル容器）
- 参加経費 一人 1,000円（材料費一部負担をお願いいたします。）
- 申込等 公益社団法人福島県畜産振興協会（担当：野田）TEL 024-573-0514 FAX 024-573-0565
参加希望の方は、平成30年2月6日(火)までにご連絡下さい。

福島の大自然とみつばちからの恵み

天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地（福島県畜産振興協会内）
TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おこころ
はちみつはいかが！

畜 産 福 島

平成30年度 福島県家畜市場総合カレンダー

	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
平成30年 4月	曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
	団体名											全農 和子生	全農 和子生	全農 成年	酪協 乳子生						全農 乳子生												
	上場																																
5月	曜日	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	団体名												酪協 乳子生					全農 和子生	全農 成年				全農 乳子生										
	上場																																
6月	曜日	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	団体名												全農 和子生	全農 成年	全農 成年	酪協 乳子生							全農 乳子生										
	上場																																
7月	曜日	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	団体名											全農 和子生	全農 和子生	全農 成年	酪協 乳子生							全農 乳子生											
	上場																																
8月	曜日	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	団体名							酪協 乳子生	全農 和子生	全農 和子生	全農 成年												全農 乳子生										
	上場																																
9月	曜日	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	団体名							全農 和子生	全農 和子生	全農 成年				酪協 乳子生								全農 乳子生											
	上場																																
10月	曜日	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	団体名											全農 和子生	全農 成年	酪協 乳子生							全農 乳子生												
	上場																																
11月	曜日	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	団体名							全農 和子生	全農 和子生	全農 成年					酪協 乳子生								全農 乳子生										
	上場																																
12月	曜日	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	団体名												全農 和子生	全農 和子生	全農 成年	酪協 乳子生						全農 乳子生											
	上場																																
平成31年 1月	曜日	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	団体名												酪協 乳子生				全農 和子生	全農 和子生	全農 成年				全農 乳子生										
	上場																																
2月	曜日	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
	団体名							全農 和子生	全農 和子生	全農 成年					酪協 乳子生									全農 乳子生									
	上場																																
3月	曜日	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	団体名							全農 和子生	全農 和子生	全農 成年					酪協 乳子生								全農 乳子生										
	上場																																

全農福島 : JA全農福島 開催日

県酪農協 : 福島県酪農協 開催日

家 畜 市 場 名	市場開設団体	電話番号【FAX】	取 引 家 畜
福 島 県 家 畜 市 場（本宮市）	JA全農福島(家畜市場課)	【TEL】024-983-0570 【FAX】024-956-0420	和牛・牛・成牛・乳子牛
【TEL】0243-39-2636 【FAX】0243-39-2690 （市場は開設日のみ）	福島県酪農家協同組合(購買畜産課)	【TEL】0243-33-6981 【FAX】0243-33-6983	毎 月：肉用乳子牛 6・9・12・3月：搾乳用牝牛も併設
	(管理団体) (公社)福島県畜産振興協会 (経営：改鳥課)	【TEL】024-573-0513 【FAX】024-573-0565	

※ 御購買・輸送等は開設又は上場組合にご相談ください。

御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎(〇二四三)六三一―四八八

小田島商事株式会社
福島市鎌田字卸町十一の四
☎(〇二四)五五三一六六七八

郡山市安積町笹川字平の上——
☎(〇二四)九四五——三〇六

日本全薬工業株式会社

株式会社アグロジャパン

日新殖産株式会社

株式会社アスコ

☎ 本宮市本宮字下台 18-12
(〇二四三)六三一—二四八八

『動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう』

家畜取引状況報告

平成29年11～12月 和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
11	雌	316	1,420,200	460,080	767,736	281	2,728	284	176	140
	雄	0								
	去勢	441	1,216,080	303,480	836,187	305	2,744	278	227	214
	計	757	1,420,200	303,480	807,613	295	2,737	281	403	354
12	雌	372	1,270,080	507,600	784,196	287	2,735	288	206	166
	雄	0								
	去勢	450	1,375,920	217,080	867,634	310	2,798	280	237	213
	計	822	1,375,920	217,080	829,874	300	2,769	284	443	379

平成29年11～12月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農業協同組合

(税込み)

開催月	区分	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
				最高	最低	平均
11 第265回	その他	ホル雄	67	182,520	5,400	133,904
		ホルフリー	1	3,240	3,240	3,240
		F ₁ 雌	83	260,280	122,040	208,323
		F ₁ 雄	76	338,040	170,640	304,446
		和牛雌	3	436,320	402,840	415,440
		和牛雄	28	655,560	376,920	541,659
		和牛去勢	0			
		計・平均	258	655,560	3,240	255,102
12 第266回	その他	ホル雄	90	205,200	75,600	182,940
		ホルフリー	2	78,840	74,520	76,680
		F ₁ 雌	82	305,640	144,720	225,641
		F ₁ 雄	81	341,280	118,800	311,867
		和牛雌	3	424,440	352,080	388,800
		和牛雄	31	690,120	432,000	581,911
		和牛去勢	0			
		計・平均	289	690,120	74,520	275,389

平成29年11～12月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
11	乳登	0					
	妊娠牛	0					
	E T 和雌	3	478,440	380,160	429,120	4,715	91
	E T 和雄	7	633,960	450,360	548,794	5,666	97
	乳雌子	1	10,800	10,800	10,800	152	71
	乳雄子	19	177,120	7,560	136,023	1,813	75
	乳去勢子	0					
	F ₁ 雌(育成)	20	359,640	235,440	311,580	1,101	283
	F ₁ 去(育成)	4	393,120	314,280	354,780	1,010	352
	F ₁ 雌(スモール)	53	295,920	158,760	231,731	3,038	76
	F ₁ 雄(スモール)	47	382,320	59,400	312,419	4,021	78
	計・平均	154	633,960	7,560	274,937	3,016	112
12	乳登	1	335,880	335,880	335,880	4,147	81
	妊娠牛	2	452,520	411,480	432,000		
	E T 和雌	2	525,960	524,880	525,420	7,453	71
	E T 和雄	5	687,960	465,480	558,576	5,487	102
	乳雌子	2	116,640	96,120	106,380	1,457	73
	乳雄子	29	159,840	74,520	111,687	1,506	74
	乳去勢子	0					
	F ₁ 雌(育成)	20	429,840	304,560	391,338	1,408	278
	F ₁ 去(育成)	4	378,000	284,040	349,920	1,098	319
	F ₁ 雌(スモール)	42	280,800	1,080	210,497	3,038	69
	F ₁ 雄(スモール)	76	356,400	65,880	276,309	3,731	74
	計・平均	183	687,960	1,080	259,902	2,933	100

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね

県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
Tel 024-573-0515
Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

(2月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
ニュートラック福島	名古屋川崎		佐賀		笠松佐賀		船橋		笠松		佐賀		浦和		佐賀											名古屋川崎		
オーブス磐梯	大井					船橋							浦和								大井					川崎		

(3月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
ニュートラック福島	名古屋川崎		佐賀			大井					佐賀		名古屋		船橋		佐賀				水沢				水沢		大井				
オーブス磐梯	川崎					大井						船橋								浦和						大井					

※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産の振興や馬に関する伝統行事の保存、街づくり、学校・病院の整備などに役立っています。



地方競馬全国協会

この印刷物は再生紙を使用しています